



創立：平成6年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：776名
所在地：〒981-3341
富谷市成田2丁目 1-1
TEL：022-351-5111
FAX：022-351-5112

ホームページアドレス：
<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
tomiya-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
地下鉄泉中央駅から宮城交通バスで約20分、「富谷高校前」下車

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

薫風満帆

(くんぷうまんぱん)

富谷高校は平成6年の開校以来、新たな時代に飛躍する人材育成を目指し、仙台北部・黒川地区の普通科高校として、地域と連携し、世界とつながる教育活動に取り組んで参りました。「さわやかで快活な学校」という伝統的な風情を守りつつ、周囲に広がる豊かな自然に包まれたキャンパスから、清新な風を背中に受けて、世界へと飛び立って行ってほしいという思いを、「薫風満帆」という四字に表しています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は泉ヶ岳等を遠望できる黒川・富谷市の丘陵地に、平成6年4月の開校以来、各方面で活躍する多くの人材を育ててきました。平成26年にユネスコスクールに加盟承認されてからも、ESD(持続可能な社会の実現のための教育)を推進する中で、世界を意識し、社会や時代の変化に対応できる人材育成に取り組んできました。

ユネスコスクールとしてSDGsを知り、考える取り組みを行うと共に、1年生では基礎教育を充実させ、2年生から「文系」「理系」に分かれ、3年生では多様な進路選択に対応するための3類型(人文・国際・理数)が選択可能な教育課程を取り入れています。

全国的にも著しい発展を続けている富谷市にある唯一の高校として、地域と連携した活動にも重きを置いています。より魅力的で持続可能な富谷市のあり方を考えることを主眼とした課題研究活動を行い、地域社会と結びつき貢献する中で、より広い世界の諸問題と向き合う機会を設けています。また、海外の高校との交流や留学生の受け入れなど、グローバルに活躍する人材へと成長して行けるステージを提供します。

校舎は県内の公立高校では珍しい円形の講義棟を始め、2つの普通教室棟と特別教室棟・管理棟・体育館で構成されています。校舎内外には美しいスタンディンググラスやモニュメントがちりばめられている中、学校のシンボルとなっているカリヨン(時計台)が美しい調子を奏でています。

(2) 教育方針

【1 個性の尊重】

一人ひとりの能力・適性に応じた教育を行い、個性を生かし創造力を伸ばして自ら進んで事に処する気力あふれる人材を育成する。

【2 知性の錬磨】

自ら学ぶ意欲と態度を育み、高い学識と豊かな教養を身に付けて国際化、高度情報化社会に適切に対応する人材を育成する。

【3 情操の陶冶】

相互に信頼し敬愛する精神を養い、自分を律する心を培って真理と正義を愛する心身ともに健全な人材を育成する。

(3) 教育課程の特徴

【特色】

全体として大学進学を希望する生徒が多く、国公立大学や難関私立大学への進学にも対応した学習内容になっています。

1年生では、全生徒が基礎・基本を養いつつ、教科の学習はもちろんのこと、LHRや総合的な探究の時間(T-time)も有効に使って学問や進路について知識を深め、しっかり将来を考えて、2年生から「文系」に進むか「理系」に進むかを選択します。さらに3年生では自分の進路や興味関心に合わせた「類型」を選択して、進路実現に向けて確かな学力を身に付けることを目指します。また、ユネスコスクールの理念に基づく様々な問題についての知見を深められるように、総合的な探究の時間(T-time)での課題研究活動を行います。3年生では進路達成に向けてより高い知識や学力を身に付けられるよう、多様な学校設定科目を設けています。

【各類型の特徴】

〈人文類型〉

国語・社会など文系科目全般に重点が置かれた類型です。また平和や人権など、世界の協調につながる問題を考える類型です。

〈国際類型〉

人文類型と同様に文系科目が中心ですが、異文化交流や国際理解に重点が置かれた、最もユネスコスクールらしい類型です。

〈理数類型〉

数学・理科など理系科目全般に重点が置かれた類型です。また環境や技術など、将来に渡り持続可能な開発を考える類型です。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な生徒会行事は4月体育大会、9月樹咲祭(文化祭)、10月球技大会があり、生徒

会執行部を中心に自主的に企画・運営され、全生徒が盛り上げられる行事になるよう取り組んでいます。学校行事では11月にキャンパスツアー(1年)、12月に修学旅行(2年)があります。この他に学年ごとのESD講演会、「T-time(課題研究)」の大きな発表の場となっている収穫祭(課題研究発表会)があります。

部活動は希望者の登録制となっており、13の運動部、12の文化部、4つの同好会がそれぞれ活発に活動しています。

【R6年度の主な活動成績】

陸上部 女子5000m競歩 県総体1位
全国大会(インターハイ)出場
男子走高跳県2位 東北大会出場
男子ハマー投県4位 東北大会出場
男子5000m競歩県5位

東北大会出場
弓道部 女子個人県5位 東北大会出場
美術部 高校生国際美術展 奨励賞受賞

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

| 進路 | R6 | R5 | R4 |
|-------|-----|-----|-----|
| 国公立大学 | 18 | 37 | 20 |
| 国公立短大 | 0 | 0 | 0 |
| 私立大学 | 159 | 159 | 173 |
| 私立短大 | 2 | 10 | 18 |
| 専修学校 | 48 | 54 | 46 |
| 就職 | 2 | 2 | 6 |
| その他 | 6 | 6 | 5 |
| 卒業生計 | 235 | 268 | 268 |

主な進路先(令和7年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

＜国公立大学＞

宮城大(6)、山形大(4)、秋田大(2)、茨城大、宇都宮大、北教大函館校、会津大、前橋工科大、都留文科大

＜私立大学＞

東北学院大(68)、東北福祉大(32)、東北工業大(16)、宮城学院女子大(9)、東北文化学園大(4)、尚絅学院大(3)、仙台大(3)、仙台青葉学院大(3)、東北医科薬科大(2)、仙台白百合女子大、石巻専修大、東北芸術工科大、中央大、獨協大、東海大、駒澤大 他

＜短期大学＞

仙台青葉学院短期大学、福島学院大短大部
＜専門学校・各種学校＞ 仙台医療センター附属看護助産(2)、仙台市医師会看護、葵会仙台看護(2)、東北労災看護、仙台医健・スポーツ専 他

＜就職＞

宮城県職員、大和町職員

3 学校魅力発信

(1) 収穫祭（課題研究発表会）

富谷高校では、総合的な探究の時間（T-time）を使って課題研究活動を行っています。

1年生から2年生にかけて、SDGsについての課題学習と発表を行うことで、世界や地域にある、解決が望まれているさまざまな問題について考える機会を持ち、調べたことをまとめる力や、わかりやすく伝える力を身に付けます。

そして、2年生からは学校全体として取り組む大テーマ「持続可能な地域（まち）づくり」について、研究したい内容を考え、グループを作って、自分たちの研究テーマに沿って具体的な研究活動を行います。活動の中ではSDGsに取り組む企業や団体などを訪問し、実際の現場を見学して自分たちの研究に取り込んだり、富谷市役所と連携して、各グループが「企画部」や「市民生活部」、「経済産業部」などの部署から、地域が直面している課題を教えていただいたり、解決に向けてのヒントを得たりします。そうやって時間をかけて研究を深めながら、発表に向けてスライドの内容を吟味したり、発表原稿を整えたりして準備を進めます。中間発表や予選会を経て、3年生になると、選ばれたグループによる『収穫祭（課題研究発表会）』という最終ステージで発表を行うことになります。



令和6年度の収穫祭は4月20日に、本校体育館で生徒と多数の保護者、さらに課題研究活動のご指導をいただいている大学の先生方や、研究に協力していただいている富谷市長などの来賓を招いて、大々的に開催しました。

出場したのは予選を通過した10グループ。準備したスライドを用いて熱の入った発表が行われ、審査員からの質問にも一生懸命答えました。審査の結果、「とみや健康カレンダーの提案」を発表したグループが1位を獲得しました。2位には「富谷市の特産品を利用したスイーツの開発」が、3位には「資源循環型のまちづくりの試み」が入り、それぞれ表彰されました。



昨年の収穫祭は、発表を聞いた下級生はもちろん、参観された保護者や審査員の方々からも、充実した発表内容や堂々とした発表態度が大変好評でした。

そして発表した生徒自身にとっても、大変有意義な行事となっています。

富谷市に唯一の高校として、地域に貢献する方法を模索しながら、ユネスコスクールにおいて世界の課題に果敢に挑む姿勢を身に付けることは、自らの将来を考える上で大変参考になるでしょう。また、引きつけるスライド作成や伝わりやすいプレゼンテーションの工夫を身に付けることも、今後さまざまなフィールドで活かされて行くことでしょう。

(2) 学校行事の紹介

① 体育大会

毎年4月、新しいクラスの親睦を深めることを目的に、体育大会が行われます。みんなで力を合わせる玉入れや長縄跳び、応援にも力がこもるクラス対抗リレー。春の心地よい空の下、クラスみんなの笑顔が輝きます。



② 樹咲祭（文化祭）

毎年8月末～9月初め、文化部の発表を中心とした文化祭を実施します。体育館では吹奏楽部や演劇部、ダンス部などの発表が、校舎では美術部や写真部、文芸部などの展示が行われます。



③ 球技大会

クラス対抗の球技大会では、2日間に渡ってバレーやバスケ、サッカー、ドッチボール、ソフトボールなどの競技が行われます。それぞれ個性的なクラスTシャツを作って、一致団結して戦います。



これらの行事はすべて生徒会執行部とそれぞれの行事実行委員が中心となって、生徒がより楽しめる内容を目指して運営されており、毎年大変盛り上がりります。

(3) 校舎と制服の紹介



富谷高校は、自然が豊かな環境の中、広大な敷地に立つ白い校舎が自慢です。創立から30年が経ちましたが、汚れも少なくまだまだ美しい状態を保っています。また、開放的な中庭や、ワンポイントのように配置されたステンドグラスが、日々の生活を明るく彩ります。

制服は清楚でさわやかな校風にぴったりなデザインで、この制服に憧れて入学した人も多いほど好評です。女子には、スカートの他にスラックスも準備されています。中に着るカーディガンやベストはグレーが指定色です。

